

公立福生病院で、人生の最終段階ではない44歳の女性患者が透析中止を申し出て亡くなった。また、2016年の全国透析施設アンケート調査では回答率は36.2%と低かったが、約半数施設で透析見合わせを経験していた。このようななかで日本透析医学会から「透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言」の改訂が出された。時宜を得た発刊であると思う。その提言の意義と倫理的側面について岡田先生、会田先生に書いていただいた。今回の改訂でのキーワードは共同意思決定（shared decision making）と保存的腎臓療法（conservative kidney management）である。医療者は医学的情報を提供し、患者は自分にとって大切なことや価値観や選好（preference）を述べ、話し合っただけで最善の選択を行うが、最終的には患者の自己決定権を尊重することが共同意思決定である。話し合いではいかに患者の思いを表出させるかが重要と思われる。その点は、

透析前患者については内田先生、濱田先生に、また、透析開始後の透析中止の対応については石田先生、西村先生に述べていただいた。透析をしないという選択である保存的腎臓療法には薬物療法、食事療法、精神療法、緩和医学が必要となるが、まだわが国では実践経験と研究が遅れている。酒井先生に台湾のガイドラインなどを含めて解説していただいた。患者さんが元気うちに自分の人生の最後を決めておく（advance care planning）のも重要である。これは植木先生に、透析困難な症例の見合わせをどう対応するかについては丸田先生に、死亡後のグリーフケアについては三浦先生に書いていただいた。また、DNAR（do not attempt resuscitation）については花房先生に自験例を含めて解説していただいた。いずれも力作である。本号が末期腎不全患者の良き人生に寄与すること祈りたい。

（伊丹 儀友）

2021年（Vol. 37）特集のご案内

- No.① 腎性貧血治療のこれまでと、その新しい展開
No.② 感染症と医療安全
No.③ 透析看護分野の看護師の認定・研修制度と社会から求められるもの

- No.④ 透析の開始・継続・見合わせ
No. 5 ダイアライザ・ダイアフィルタの今後を考える
No. 6 看過してはならない不整脈

（既刊は○）

臨牀透析® Vol.37 No.4

© 2021年4月10日発行
定価：2,860円
（本体2,600円＋税10%）

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <https://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2021, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 電話(03)3814-8541